

百科事典を



つかってみよう

小学校3・4年生の国語で、百科事典を利用する学習が始まりました。教科書によっては、年間200時間のうち、16時間もこの単元に割り当てられています。

百科事典は、国語だけではなく、社会など教科の「調べ学習」や、「総合的な学習の時間」でも、調べるときの基本的な資料として大変役立ちます。

本指導案は、小学校3・4年生に対して45分の授業時間で出来るものです。ぜひこの指導案をもとに、授業をしてみてください。児童は百科事典の面白さに目覚め、格段に利用率が向上することでしょう。

また、5・6年生で行う場合や、2時間にわたって行う場合など、発展的に指導できる案も加えてあります。

『ポブラディア』編集部が、これまで全国100校以上で行ってきた出張授業を元にまとめたものです。ぜひご活用下さい。

ポブラディア編集部



● **本学習のねらい**

1. 百科事典とはどういうものか理解する
2. 五十音順資料の基本的な使い方を理解する
3. 百科事典を様々な学習に活用出来るようにする

● **事前に準備するもの**

1. 『総合百科事典ポプラディア新訂版』(40人学級で3~6セット)
各班に1セット『ポプラディア』があるように班分けをする。
『ポプラディア』が足りない場合は、1~6巻、7~12巻を2班に分けて利用する。
その場合は、作業の途中で入れ替えて、全ての巻が利用できるようにする。
2. ワークシート
本冊子9ページにある「ワークシート①」を班の数だけコピーする。
3. 筆記用具
児童は、鉛筆と消しゴムだけあればよい。

● **本学習の指導上の留意点**

- ・ 事前にあまり多くを説明しないで、児童の気付きを大切にする
- ・ 児童の発言を大切にする。あまり誘導しないで、自由に発言させるとよい
- ・ 夢中になるあまり、本の扱いが粗雑になることがある。適宜注意する

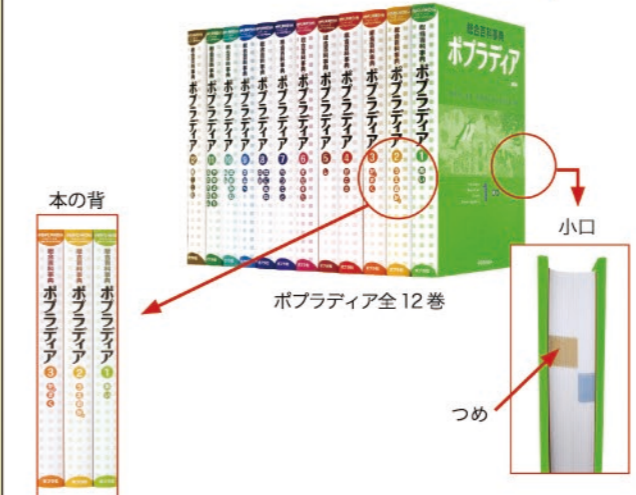
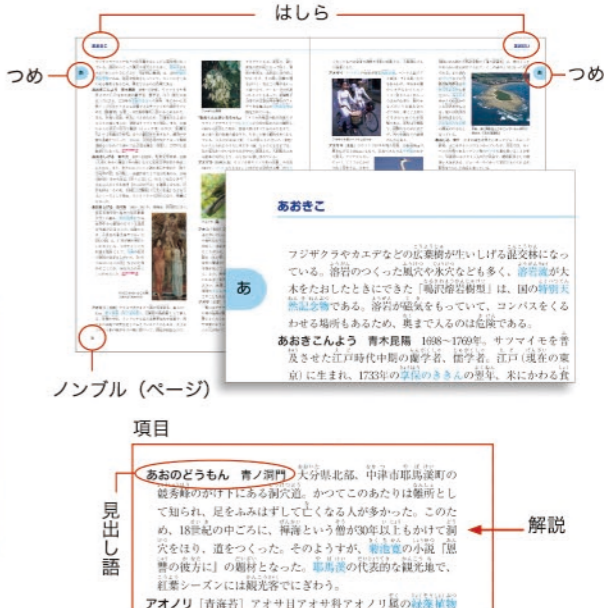
● **百科事典を使ってみよう 指導案**



「総合百科事典ポプラディア新訂版」

時間	学習活動と、児童の発言の例	先生の説明や指示、指導上の留意点
5分	<p>学習のめあてを伝える ワークシートを配布する</p> <p>ワークシートの使い方を理解する</p> <p>児童の発言例 「1巻の227ページに一輪車が載っているという意味だと思います」</p> <p>1巻 227 ページを開き、「一輪車」の項目を読む</p>	<p>「今日は百科事典の使い方を学習しましょう。それぞれの班に1セットずつ『ポプラディア』がありますね。それを使って学習します」</p> <p>「最初の質問です。紙の一番下、「一輪車」のところに「1」と「227」という数字が書かれていますね。これはどういう意味だと思いますか？」</p> <p>「では、〇〇さんの言ってくれた通りかどうか確かめてみましょう。1巻の227ページを開いてみてください」</p> <p>「〇〇さんが言ってくれた通りでしたね。残りの9つのキーワードはどこにあるかわかりません。『ポプラディア』を使って、何巻の何ページに載っているか確かめ、見つけたらその紙に書いていきましょう」</p>
10分	<p>9つのキーワードに取り組む</p> 	<p>作業の早い班が他班より先に終了してしまった場合には「終わった班の人は、もう一度キーワードを調べなおして、何が書いてあったか読んでみましょう」と指示する。</p> <p>児童の発言例 「つめがある」「はしらがある」</p>

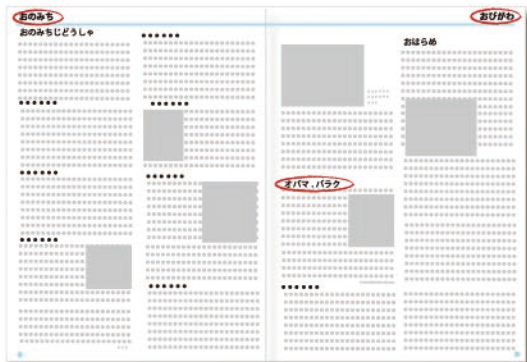


時間	学習活動と、児童の発言の例	先生の説明や指示、指導上の留意点
20分	<p>すべての班が作業終了する</p> <p>感想を発表してもらう</p> <p>児童の発言例 「国語辞典に似ている」</p> <p>！おさえておきたいポイント 五十音順 (あいうえお順)</p> <p>児童の発言例 「つめがある」「はしらがある」</p> <p>具体的に「つめ」や「はしら」という用語は出てこないが、「ここが似ている」と指を差しながら答えることが多い</p> <p>！おさえておきたいポイント つめ はしら</p> <p>「はしら」のあるページを見ながら、その役割を考える児童の発言の例。指で差しながら</p> <p>児童の発言例 「左のはしらはページのこの最初の言葉、右のはしらはこの最後の言葉の最初の4文字が書いてある」</p> <p>！おさえておきたいポイント 項目 (見出し語・解説)</p> 	<p>「すべての班が終了しました。どこにこのキーワードが載っているかを調べただけなんだけど、『ポプラディア』ってこういうところが面白いとか、何かに似ているとか、こういうところがよいとか、いろいろ感想があると思います。それを発表してください」</p> <p>自由にたくさん発表してもらえるとよい。気付きとそれに対する解説は、発表ごとでも、最後にまとめてでもよい。</p> <p>「五十音順だ」とか「あいうえお順だ」という発言もあるが、「国語辞典に似ている」という発言が多い。その場合は、「なぜ国語辞典に似ているんだと思う?」と問いを返して、「五十音の配列であること」「調べたいことが調べられる本」ということを認識させる。</p> <p>「つめ」と「はしら」は詳しく解説する。 「これは「つめ」、こちらは「はしら」というよ。」 「「つめ」は国語辞典と同じだね。どこに何が載っているか、本を開かなくても、だいたいこのあたりにある、ということを知らせるためにあるよ」 「国語辞典と『ポプラディア』では少しだけ違うところがある。国語辞典の「つめ」は「あ行」「か行」でまとめられているね。『ポプラディア』は一語ずつだ」 「さあ、自分で1冊『ポプラディア』を開いてみよう。必ず両側に「つめ」と「はしら」があるページを開いてください。そして「はしら」はどのような約束でその言葉が載っているか考えてください」 「いま見ているページの前や後ろと比べてみよう」</p> <p>「そうだね、〇〇さんが気付いてくれた通りだね」 まず最初に「項目」を理解させてから「はしら」を説明する。 「こういう一つずつのことを「項目」というよ。「項目」は「見出し語」と「解説」で出来ている。「見出し語」は太い文字で書かれているところだね。調べたい言葉が「見出し語」になっている。「項目」は全て、「見出し語」の五十音の順番に並んでいる。その見開きの最初の「項目」の「見出し語」の最初の4文字が左のページ、その見開きの最後の「項目」の「見出し語」の最初の4文字が右のページの「はしら」だ」</p> 

「オバマ、バラク」の項目があるページを開き、その見開きの「はしら」に注目する



「オバマ大統領は2巻の225ページに載っていたね。そのページを開いてみよう。オバマさんを探するとき、「どこだ?」って1ページずつ、パラパラ本を開いていなかったかな? これからは「はしら」に注目しよう。オバマさんの載っている見開きの左の「はしら」は「おのみち」、右の「はしら」は「おびがわ」だ。「オバマ」は「おの……」と「おび……」の間に必ずある、この見開きにあるはずだ、ということを予想してからその見開きの中を探してください」



この位置関係を黒板に示すとわかりやすい

国語辞典にも「はしら」があることに気づき、その役割を理解する

国語辞典を開いて示す。
「国語辞典にも、「はしら」があるよ。だけど国語辞典の「はしら」は見開きではなく、右と左、それぞれのページのもの載っているよ」

児童の発言例

「本文に青い字や赤い字がある」「大事なことが青い字で書いてある」

おさえておきたいポイント

青字リンク
赤字リンク

青い字に気付く児童は多いが、「大事なことから」という理解でとどまっていることが多い。
「大事なだけでなく、ほかで項目になっているので、そちらも見て欲しい、という意味だよ」
情報館シリーズ(12ページ参照)の1冊を示しながら
「赤い字は、この情報館シリーズにその項目についてもっとくわしく書いてあるから、そちらも読んで欲しい、という意味だよ」



ポプラディア情報館シリーズ(全50巻)



ポプラディア情報館「動物のふしぎ」156ページ〜157ページ

児童の発言例

「オールカラーで写真やイラストがたくさん載っている」

「各「項目」の「解説」には、「見出し語」の意味が文章で書かれているが、写真やイラスト、図、表などがあつたほうがわかりやすいときには、それが付け加えられているよ」



児童の発言例
「辞書は1冊だが、『ポプラディア』は分かれている」

おさえておきたいポイント
12冊で1冊であること
禁帯出

「これが1冊だとしたら、どうだろうか? 『ポプラディア』は12巻あわせて20kgになる。こんな大きさで20kgもあるものが図書館の本棚にあっても、使えないよね。だから、分けてあるんだよ」

国語辞典の「け」「こ」「さ」で始まるページと、『ポプラディア』の4巻を比べて見せる。
「この国語辞典の「け」「こ」「さ」が載ってるのがこれだけ、『ポプラディア』はこの1冊だ」
「『ポプラディア』がたくさん載ってて「すごい」ということじゃないよ。『ポプラディア』は12巻で一つなんだね。1冊でも無くなったらこまるよね。だから「禁帯出(貸し出し禁止)」にしてあるんだ。使ったら、ちゃんと巻の順番通り元のところにもどそう」



児童の発言例
「くわしく書いてあってわかりやすかった」

事典と辞典の違いを理解する

おさえておきたいポイント
辞典と事典の違い

「そうだね。調べたいことがくわしくわかりやすく書いてあるね。『ポプラディア』には項目が2万5000も載っているんだよ」

『ポプラディア』と国語辞典を示しながら「どちらも「じてん」「じしょ」だね。だけど「じてん」の「じ」が違う。国語辞典の「辞」は「ことば」、百科事典の「事」は「事柄」「物事」という意味だよ」

「百科」の意味を理解する

「チャーシュー」の項目について考えさせる

「百科事典の「科」は「社会科」や「理科」の「科」と同じだね。この「科」は、「分野」「ジャンル」という意味だよ。「十」「百」「千」「万」には、「とても多くの」とか「すべての」という意味がある。だから百科というのは、「すべてのジャンル」という意味だね」

「チャーシュー」を調べてくれたね。7巻の54ページって書いてくれていると思う。そこを開いてみてください
全員が「チャーシュー」の項目を確かめたら
「チャーシュー→焼き豚」となっているのはなぜだと思う?」



児童の発言例
「チャーシューは焼き豚のこと」「チャーシューは日本語で焼き豚という」

「なるほど、だけど、ではどうして「チャーシューは焼き豚のことです。」「チャーシューは日本語で焼き豚といいます。」と文章になっていないんだろう? ほかの項目は文章になっているよね」



児童の発言例
「「焼き豚」で調べなさい、ということだと思う」

「〇〇さんの言う通りかどうか確かめてみよう」
「「焼き豚」という項目が別にあつたね。そこには焼き豚はなんだ、ということが書いてあって、「チャーシューともいう」と書いてあるね。つまり焼き豚とチャーシューは同じものだ。同じものだけど二つ名前がある。両方に同じ解説を載せておいてもいいけど、場所がもつたないから、片方に載せて、もう片方はそちらを見るように、となっているんだ」

おさえておきたいポイント
「→」の意味

『総合百科事典ポプラディア新訂版』7巻54ページより

『総合百科事典ポプラディア新訂版』11巻12ページより

キーワード選定のこつを理解する

！ おさえておきたいポイント
調べるキーワードの
選び方

「この「→」は『ポプラディア』のルールです。五十音順の資料にはこういうルールが多いから覚えておいてください。だけど、いつもこういう風に親切になっているとはかぎりません。大切なのは、調べたい言葉があって、それを調べても見つからなかったとき、ほかの言葉に置きかえたら、調べられるんじゃないかな、と考えることです。「チャーシュー」で見つからなかったら、「料理」でも、「豚肉」でも、「中華料理」でもいい、ほかの言葉に置きかえて探してみましょう」

5分

！ おさえておきたいポイント
索引

多くの班は、「索引」巻を開き、「スピードガン」の行を指差すが、「→瞬間の速さ」の意味は理解できていない

「いまから黑板にある言葉を書きます。この言葉は、『ポプラディア』のどこかで、どういう意味か説明されています。そこを探してください」
「スピードガン」と板書する。児童は、「す」の巻をまず見るが、見つからない。前の話を受けて「銃」や「鉄砲」で探そうとするが見つからない。
「ヒントを言います。本を閉じて、本の題名を見てください。特別な題名の本があります。その本を使うと見つかります」

！ おさえておきたいポイント
別名（異名）
正式名称
略称
通称

索引の「スピードガン」と項目の「瞬間の速さ」を見せる

「この「→」はどういう意味だったかな？ さっき、「→」について話したよね」
「瞬間の速さ」を調べる、ということに気付かせる。
「よく見つけたね、この巻は「索引」というよ。『ポプラディア』は1巻から11巻まで、五十音順に2万5000の項目が並んでいるのに、なぜ、もう一度五十音順に並んだ「索引」がいるのか考えてみよう。「スピードガン」は項目になっていないけど、「瞬間の速さ」という別の項目の中で「瞬間の速さを測定する装置」だと書いてあるね。つまり、項目になっていなくても意味がわかるものは、「索引」で調べられるようにしてあるんだ」

「さきほどの「チャーシュー」と「焼き豚」のように、同じ意味だけど2つの名前がある場合もある」
「「国際連合」のことを「国連」というけど、「国際連合」は正式な名前、「国連」は略した名前だ。正式名称と略称と言うよ」
「青森県に「岩木山」という山があります。富士山のような形をした山なんだけど、「津軽富士」ともよばれています。この場合の「津軽富士」は通称だね」
「このように、別の名前、略称、通称など、いろいろな引き方ができるようになっているんだ。この「索引」巻では5万語を調べることができるよ」

5分

まとめ
百科事典は、いろいろなことが調べられ、しかも学習が広がっていくことを知ってもらう。

『ポプラディア』の基本的な使い方はわかったかな？ 社会や理科でも、体育や音楽でも、趣味のことで、いろいろなことが調べられるんだね。五十音順だから、調べたいときにすぐ調べられる。図書館のここにいつもあるから、これからなにか知りたいときには、まず『ポプラディア』で調べてみよう」

● さらに気付くとよいこと

45分の授業時間では難しいが、できれば2時間目を設け、以下のことも学びたい。とくに5・6年生では必須と思われる。

「凡例」

『ポプラディア』では、各巻の巻頭に、『総合百科事典ポプラディア』のつかい方というページが設けてあります。いわゆる「凡例」です。「凡例」を読んで、資料それぞれの使い方を正しく理解することはとても重要です。3・4年生でも、見出し語のあらわし方やならべ方の知識は必要です。

【例】

- ・ワークシート①の「チャーシュー」をうまく引けない児童が多くいます。五十音順資料では、長音(伸ばす音「ー」)の扱い方が2種類あります。『ポプラディア』では、長音の前の文字の母音に置きかえることを指導してください。また、生物の大きさの示し方も重要です。体長、体高、全長などが、何をあらわすのか理解する必要があります。
- ・5・6年生では、さらに統計資料のきまりなども理解してもらいたいと思います。

「奥付」

書物の最終ページなどにあり、書名、著者、出版社、刊行年など、その資料の書誌情報をまとめた部分と奥付といいます。出典をおさえるためとても重要ですが、小学生が奥付の重要性を理解することはとても難しいです。3・4年生には、「なんという名前の本で、誰が、いつつくったかが書いてある」と指導するだけでもよいと思われます。そして、本で学習したときには、必ず奥付を見て、控えることを指導してください。

「資料の新しさ」

児童が陥りやすい問題点として、資料の刊行年を考えない、ということがあります。図書館で本と出会ったとき、その本が数年前からそこにあったかもしれないということは想像できません。資料には新しい、古いがあり、その資料が刊行された後のことは絶対に載っていないという理解する必要があります。ワークシート①にあるキーワードのうち、「緊急地震速報」「国際子ども図書館」「オバマ、バラク」「セアカゴケグモ」「はやぶさ」が、ワークシート②では調べる項目のすべてが、『ポプラディア』新訂版で新掲載された新しい情報です。資料の新しい、古いを理解するためには上記の奥付の理解が重要となります。「資料の新しさ」を理解したのち、統計資料、年鑑類に発展させるとよいでしょう。

「著作権、引用、出典、参考資料」

奥付の学習からさらに発展させるとよいでしょう。くわしくは「調べ学習を進めるための9つのポイント」(<http://navipo.jp/shirabe/>)をご覧ください。



● 5・6年生はワークシート②で

5・6年生は、ワークシート①から始めて、2時間目でワークシート②に進むとよいと思われませんが、いきなりワークシート②から始めてもよいでしょう。

ワークシート①に比べて、問題文、各項目をよく読まないで正確に答えられません。

【ワークシート②の答えとポイント】

本学習のねらいは、ワークシート①同様、百科事典が使えるようになることですが、間違えやすいポイントがあります。間違ふことで気づきが深まりますので、ご指導ください。

問1 緊急地震速報を提供するのはどこ？

答え 気象庁

問2 ティーボールは、どんなスポーツに似ているか？

答え 野球やソフトボール

ポイント 片方しか書かれていないことが多いです。見落としに注意してください。

問3 上海国際博覧会に参加した国・地域・国際機関の数は？

答え 246

ポイント 「246か国」と書かれることが多いです。国と地域、国際機関をあわせた数なので、単位はありません。「か国」をつけるのは誤りです。

問4 オバマ大統領が議員になる前にしていた仕事は？

答え 弁護士

問5 「はやぶさ」が探査した小惑星の名は？

答え イトカワ

問6 三好市は何県にあるか？

答え 徳島県

ポイント 「愛知県」「広島県」と間違えることが多くあります。日本には「みよし」が3市あります。「みよし市」は愛知県、「三次市」は広島県、「三好市」は徳島県です。見出し語の読み「みよし」だけを見て、はやとちりしてしまうのです。

問7 国立新美術館があるのはどこ？

答え 東京都港区六本木

ポイント 「大阪市北区中之島」「東京都台東区上野公園」などと書く例があります。前者は「国立国際美術館」、後者は「国立西洋美術館」の項目を読み誤ったものです。「三好市」と同じく、正確さが求められます。

問8 セアカゴケグモのこわいとくちょうは？

答え 毒グモである(例)

ポイント 文章で答える問題なので、文章は様々でよいのですが、「かまれると針でさされるようにいたい(以下略)」などの答えが大変多いです。「毒がある」「毒グモである」など、「毒」という語をおさえることが重要です。

● 『ポプラディアネット』も使ってみよう (<http://poplardia.net/>)

『ポプラディアネット』は、インターネット版の『ポプラディア』です。児童の調べ学習ではインターネットもとても重要なツールですが、適切ではない情報を得てしまうなど問題も多々あります。ぜひ『ポプラディアネット』も有効活用していただきたいと思います。『ポプラディアネット』には以下のような特長があります。

- ・動画や、動物の鳴き声・国歌などの音声資料が利用できる
 - ・瞬時に行える全文検索など、コンピュータならではの検索性にすぐれている
 - ・青字リンクやNDCなど、様々な発展的な学習の道を示してある
 - ・「東日本大震災」や日本・世界の新しい指導者など、新規項目を掲載している
 - ・統計資料、市町村合併など、新しい情報を随時更新している
- 3か月の無料体験をお申し込みいただくことができます。ぜひお問い合わせください。(11ページ参照)

このキーワードを調べてみよう

はん
班

	キーワード	かん 巻	ページ
1	緊急地震速報 (きんきゅうじしんそくほう)		
2	国際子ども図書館 (こくさいこどもとしょかん)		
3	オバマ, バラク		
4	新幹線 (しんかんせん)		
5	セアカゴケグモ		
6	はやぶさ		
7	チャーシュー		
8	盲導犬 (もうどうけん)		
9	ンゴマ (んごま)		
10	一輪車 (いちりんしゃ)	1	227

しらべてみよう

はん
班

1. 緊急地震速報を提供するのはどこ？
2. ティーボールは、どんなスポーツに似ているか？
3. 上海国際博覧会に参加した国・地域・国際機関の数は？
4. オバマ大統領が議員になる前にしていた仕事は？
5. 「はやぶさ」が探査した小惑星の名は？
6. 三好市は何県にあるか？
7. 国立新美術館があるのはどこ？
8. セアカゴケグモのこわいとくちょうは？

インターネットでの調べ学習に。 ポプラディアネット

<http://poplardia.net/>

「ポプラディアネット」は「総合百科事典ポプラディア」のインターネット版です。

正確！
安心！

内容はポプラ社が責任を持って作成。

はじめよう！

ネット版だから

- 更新随時、情報が新しい！
- 動画、音声がある！
- おすすめサイトなどで発展学習！

読める！
わかる！

ふりがなつき。
文章量、表現も適切。

検索が
かんたん！

マウス操作だけでも検索できます。

まずは無料体験を！

お問い合わせはカスタマーサポート（下記）まで。

※画像はID版のものを合成しています。

主な仕様と価格

●ID版/個人、学校向け

IDとパスワード入力で認証します。

年間ライセンス 1 価格 8,400円(本体8,000円)

ISBN978-4-591-92128-9

年間ライセンス 5 価格 36,750円(本体35,000円)

ISBN978-4-591-92129-6

年間ライセンス 10 価格 63,000円(本体60,000円)

ISBN978-4-591-92130-2

年間ライセンス 20 価格 105,000円(本体100,000円)

ISBN978-4-591-92131-9

年間ライセンス 30 価格 136,500円(本体130,000円)

ISBN978-4-591-92132-6

年間ライセンス 40 価格 178,500円(本体170,000円)

ISBN978-4-591-92133-3

●IP版/教育委員会向け

グローバルIPアドレスで認証します。

価格：規模に合わせてお見積りいたします。

●公共図書館版

パブリックスペースでのご利用に配慮した図書館版です。

ID版 公共図書館専用ライセンス1

価格 105,000円 (本体 100,000円)

ISBN978-4-591-92134-0

※グローバルIPアドレスで認証する公共図書館用IP版もございます。

●本コンテンツはいずれの契約の場合も、年間固定料金です。年度途中からのご採用の際は、初年度のみ月割りでご契約いただけます。3年継続は10%割引、5年継続は20%割引となります。

●ご利用にはADSLなどの常時接続によるインターネット環境がととのったパソコン (Windows) が必要です。詳しい動作環境についてはこちらをご確認ください。
<http://poplardia.net/what/05.html#01>

お問い合わせ先
ポプラディアネット・カスタマーサポートセンター
電話03-3357-2214 FAX03-5919-4860
メールアドレス cc@poplardia.net

緊急の
お知らせ

いよいよ、3年生や4年生で、
百科事典や図鑑を使う
授業がはじまりました!

あなたの学校には、百科事典や
図鑑はそろっていますか?

- ① 平成23年度からの新学習指導要領では、3・4年生の国語で、百科事典や図鑑を使った授業が始まりました。
- ② 教科書によっては、8ページにわたり百科事典や図鑑を利用した調べ学習を行うようになっています。
- ③ 百科事典や図鑑がなかったら、文部科学省が定める新学習指導要領にそった授業ができません。
- ④ 新しい百科事典は、2011年1月刊行の「総合百科事典ポプラディア新訂版」しかありません。

総合百科事典

ポプラディア 新訂版

全国の小・中・高等学校
約35,000校で採用

全12巻 揃定価 102,900円 (揃本体 98,000円)

ISBN978-4-591-91186-0

9年ぶりの全面改訂!

生まれ変わった「総合百科事典ポプラディア」

今ならもれなく
使い方がわかる
小冊子がついて
くる!



「ポプラディア」とリンクする学習資料集

ポプラディア情報館シリーズ

全50巻 各巻定価7,140円 (本体6,800円)



編者 ポプラ社ポプラディア編集部
写真 東京学芸大学附属小金井小学校 / 大阪教育大学附属池田小学校 / 本多康司
イラスト 伊東ちゆん子
発行者 坂井宏先
発行 株式会社ポプラ社 〒160-8565 東京都新宿区大京町22-1
ポプラディア編集部 TEL.03-3357-2256
販売局 TEL.03-3357-2212 フリーダイヤルFAX0120-53-6188
メールアドレス info@poplardia.com
ポプラ社ホームページ <http://www.poplar.co.jp>
ポプラディアワールド <http://www.poplardia.com>
印刷・製本 凸版印刷株式会社

書店名